

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	飯南町 (32386)
地域名 (地域内農業集落名)	川西 (南、谷川、西、才谷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	42.18 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	42.18 ha
② 田の面積	42.18 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.81 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

認定農業者及び中堅の担い手が農地を集約しており水稻やWCSを生産している。A地区の認定農業者が集約している農地は、管理不十分であり地域の担い手への集約が望まれる。集落の高齢化が進み水管理や畦畔除草などの管理ができない農地が生じつつある。新たな担い手の確保、傾斜地が多いこと、イノシシなど鳥獣被害が問題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

新たな担い手を確保し、地域と担い手が一体となって集落内の農地を維持管理していく体制の構築が必要。水稻が主要作物であるが、条件不利地(農地)が多い現状では新たな担い手確保は皆無に等しく今後の地域農業の将来像を描けない状況である。生産コストの削減、作物価格の増による収益率の向上が必要である。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

現認定農業者への農地の集積・集約化を促進すると共に、新たな担い手の育成により地域の協力体制の強化を図り適切な農地保全に努める。個々の農業者については、現状の農地保全の継続に努める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	36 %	将来の目標とする集積率	56 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

複数の担い手(個々の農業者)により分散している農地について、農地ごとの集団化を促す事により効率的農業経営の促進を図る。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	最低限現状の継続を図るとともに、農地の現況(貸借期間等)について、農業委員会等関係機関と情報共有を図り地域全体の農地状況に合わせた集積、集団化を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方法	現在未利用の農地についても農地中間管理機構を介しての貸借を促進し農業経営の安定化を図る。
(3)基盤整備事業への取組	悪条件下の農地について、作付けや管理方法も含めた検討を行い必要な改修を行う。また、既存農業用施設については、老朽化等による必要な改修・修繕を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	就農予定する後継者、Uターン等による新たな担い手の確保を図ると共に、農地中間管理機構を活用した農地確保並びにJA、県の技術的指導を受けられる体制の構築を促進する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	従来の動噴による防除をドローン防除事業者に委託することにより労力の軽減を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

当地域は中山間地域であり鳥獣被害は深刻であり、特にイノシシによる被害が最も多い状況にある。地区をワイヤーメッシュ、電柵等で囲い農地への進入を防ぎ、周辺部には箱わな等設置し猟友会による駆除も行っている。今後も関係機関と協力し鳥獣被害防止に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 担い手1	水稲、牧草等	9.87 ha	0.00 ha	水稲、牧草等	12.34 ha	0.00 ha	1	
2	認農 担い手2	水稲、大豆	1.67 ha	0.00 ha	水稲、大豆	0.00 ha	0.00 ha	2	
3	利用者 担い手3	水稲、野菜	3.94 ha	0.00 ha	水稲、野菜	3.54 ha	0.00 ha	3	
4	利用者 担い手4	水稲	0.94 ha	0.00 ha	水稲	1.05 ha	0.00 ha	4	
5	利用者 担い手5	水稲	1.33 ha	0.00 ha	水稲	1.61 ha	0.00 ha	5	
6	利用者 担い手6	水稲	1.30 ha	0.00 ha	水稲	1.30 ha	0.00 ha	6	
7	利用者 担い手7	水稲、野菜	1.09 ha	0.00 ha	水稲、野菜	1.09 ha	0.00 ha	7	
8	利用者 担い手8	水稲	1.71 ha	0.00 ha	水稲	1.71 ha	0.00 ha	8	
9	利用者 担い手9	水稲	1.71 ha	0.00 ha	水稲	1.71 ha	0.00 ha	9	
10	利用者 担い手10	水稲	0.69 ha	0.00 ha	水稲	0.69 ha	0.00 ha	10	
11	利用者 担い手11	水稲	0.73 ha	0.00 ha	水稲	0.73 ha	0.00 ha	11	
12	利用者 担い手12	水稲	0.59 ha	0.00 ha	水稲	0.59 ha	0.00 ha	12	
13	利用者 担い手13	水稲	0.83 ha	0.00 ha	水稲	0.55 ha	0.00 ha	13	
14	利用者 担い手14	水稲、飼料作物	0.56 ha	0.00 ha	水稲、飼料作物	0.56 ha	0.00 ha	14	
15	利用者 担い手15	水稲	0.23 ha	0.00 ha	水稲	0.23 ha	0.00 ha	15	
16	利用者 担い手16	牧草	0.00 ha	0.00 ha	牧草	0.30 ha	0.00 ha	16	
17	利用者 担い手17	水稲	0.74 ha	0.00 ha	水稲	0.74 ha	0.00 ha	17	
18	利用者 担い手18	水稲	1.17 ha	0.00 ha	水稲	1.17 ha	0.00 ha	18	
19	利用者 担い手19	水稲	1.20 ha	0.00 ha	水稲	1.20 ha	0.00 ha	19	